**第5図(B)．　2018年度採取土壌を用いた土壌微生物画分の呼吸活性(E)&(F)を説明変数，収量を目的変数とした重回帰分析結果．**

収量 = 8.9545\*(E)-0.4908\*(F)+470.2810

データ数25，寄与率0.354，重相関係数(R2) 0.595，自由度調整済決定係数　0.544，残差正規性のSW検定確率0.2454,　残渣の正規性ありとみなす．　重回帰式の検定利用可能とみなす．重回帰式の有効性の検定　F検定値　6.0316，自由度　2, 22，確率値　0.0082，重回帰式は有効であるといえる．　AIC　231.075，DW比　1.514，　VIF値　共に1.015，　標準化係数： (E)；0.5757，(F)；-0.2367